

あたたかな未来をつくる 「福津の教育」

(義務教育編)

令和2年度 福津市立中学校
中学生未来会議2020
(第2回)



来たるべき時代を生き抜く人材の育成が必要

予測困難な時代
厳しい挑戦の時代
学習指導要領(総則)

教育の
転換期



持続可能な社会の創り手
未来を拓く創造力に富む人材
新たな価値を生み出す人材

様々な大人との関わりが大切

「鍵」となるのは、子どもを取り巻く大人である私たち

日本の教育は今、**転換期**



C・S(コミュニティ・スクール)の**努力義務化**

- ◆ 中央教育審議会「新しい時代の教育と地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」(H27.答申)
- ◆ 文部科学省「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正(H29.施行)



学校ごとの**特色化**や **魅力づくりの推進**

- ◆ 中央教育審議会「新時代に対応した高等学校教育の在り方(論点整理)」(R2)



小中一貫教育の**推進**

- ◆ 文部科学省「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」(H28)
 - ◆ 中央教育審議会「新しい時代の初等中等教育の在り方 論点取りまとめ」(R1)
- ※ 令和4年をめどに、**小学校高学年に教科担任制を導入**

津屋崎中学校区の小中一貫コミュニティ・スクール

(R2児童数) **80人**

(R2児童数) **955人**

(R2生徒数) **386人**



勝浦小
(※**特認制度**学校)



津屋崎小



津屋崎中

地域の歴史・伝統文化に学ぶ

「**地域愛**」の育成



勝浦小 「獅子楽」



《新原・奴山古墳の世界遺産学習》



《勝浦人形浄瑠璃の継承》



地域の**歴史・伝統文化**を核にした小中一貫教育



《津屋崎山笠の継承》



《津屋崎人形絵付け（美術）》

《郷づくり防災訓練への参加》



防災の取組を核にした小中一貫教育



《小学校引き渡し訓練》



《内閣総理大臣表彰》

福間東中学校区の小中一貫コミュニティ・スクール

(R2児童数)
246人



神興小

(R2児童数)
484人



神興東小

(R2生徒数)
465人



福間東中

(R2児童数)
132人



上西郷小

人とのつながりを広げ深める

「人権感覚」の育成



《保育園・幼稚園との交流》



《中学生との交流学習》



多様な人とのつながりを核にした小中一貫教育



《光陵高校生との英会話ランチ》



《郷育カレッジスタードームづくり》

《赤ペン先生による補充学習》



《郷づくりのそうめん流し体験》



多様な人とのつながりを核にした小中一貫教育



《地域・PTAによる子ども食堂》



《民生委員体験による高齢者交流》

福間中学校区

地域の大人を巻き込んだ「社会力」の育成



松林清掃・保全活動

福間中学校区の過大規模の現状

福間中学校区の児童生徒数及び普通教室数の推移



★校区内各学校のピーク

学 校	年度	児童生徒数	最低限必要な 普通教室数	保有する 普通教室数	過不足
福間南小	R07	1,682人	50教室	55教室	+ 5
福間小	R10	1,850人	50教室	50教室	± 0
福間中	R13	1,811人	48教室	30教室	- 18

※ 小学校も中学校も過大規模化の緩和が必要

竹尾緑地に小中一貫教育施設

小学6年生から中学3年生までが共に学ぶ

環境教育を核とした小中一貫教育の試み

自然に配慮する
自然を守る

自然に学ぶ
自然に溶け込む

知る・学ぶ



希少生物観察活動（案）

環境クラブの活動報告会（案）



発信する



環境クラブによる文化祭等の展示発表（案）



カスミサンショウウオ

ニホンアカガエル

ウラナミジャノメ

福間南中学校区(仮称)の小中一貫コミュニティ・スクール

(R7児童数) 1401人

(R7児童・生徒数) 1043人



福間南小学校

福間南小中一貫教育施設

1年

2年

3年

4年

5年

6年

中1

中2

中3

環境教育を核としたエコロジースクール



「西郷川を守ろう」



「福間海岸清掃」



「竹尾緑地の保全活動」



福間中学校区の小中一貫コミュニティ・スクール

(R7児童数) 1439人

(R7児童・生徒数) 926人



福間小学校



福間小中一貫教育施設

1年

2年

3年

4年

5年

6年

中1

中2

中3

地域の大人を巻き込んだ「社会力」の育成



「フードドライブ」



「トークフォークダンス」



「みらい会議」

竹尾緑地に小中一貫教育施設の建設 (R7)

校区再編なし

教育の質の担保

教育の機会均等

福間小校区

福間小
1,727人



1,439人

(小1～小5)

福間中
(小中一貫
教育施設)
1,400人



926人

(小6と中1～中3)



福間南小校区

福間南小
1,682人



1,401人

(小1～小5)

小中一貫教育施設
1,043人

(小6と中1～中3)



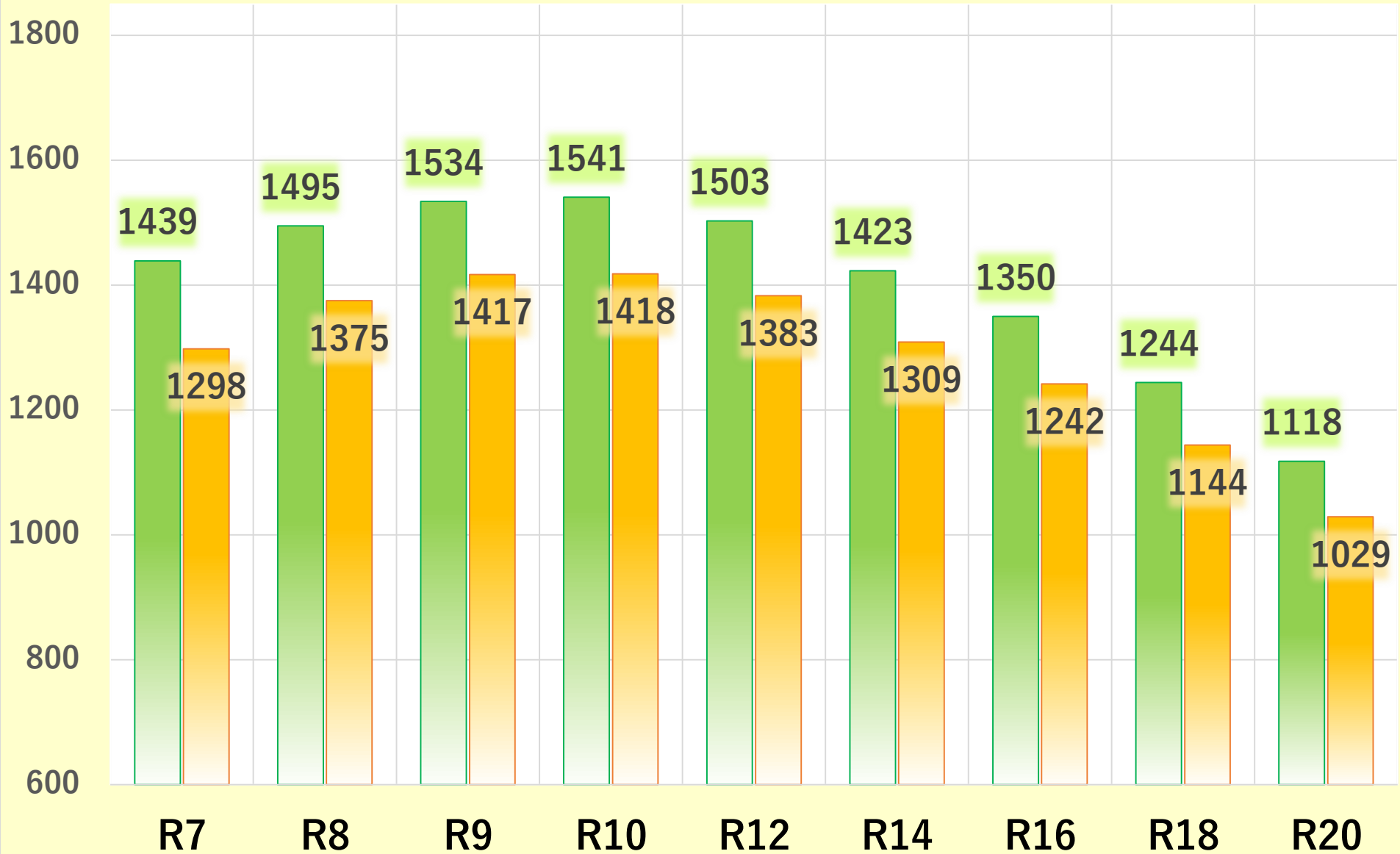
竹尾緑地

福間小学校の児童数の推移

(人)

■ 竹尾小中一貫教育施設案

■ 手光小学校案

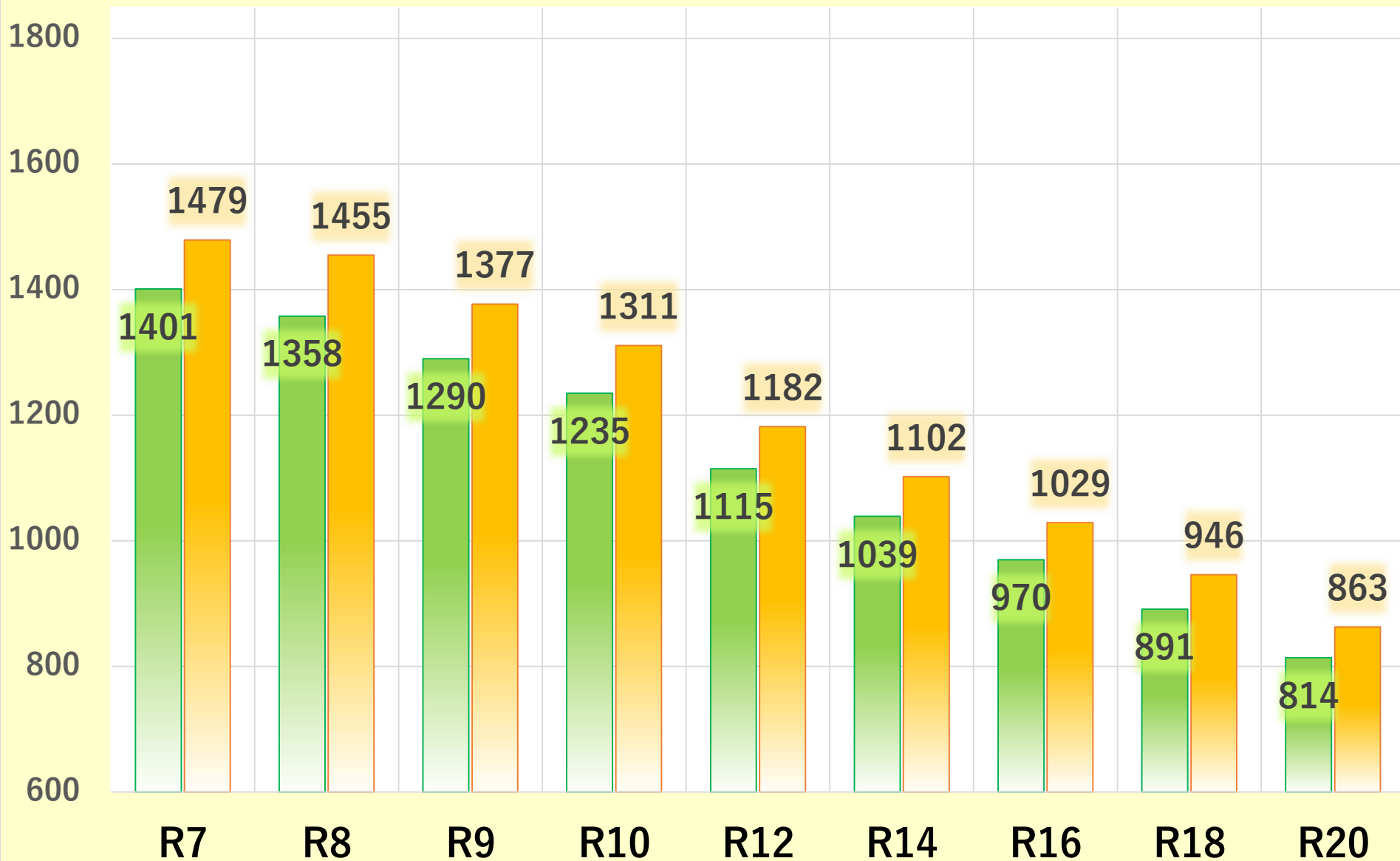


福間南小学校の児童数の推移

(人)

■ 竹尾小中一貫教育施設案

■ 手光小学校案

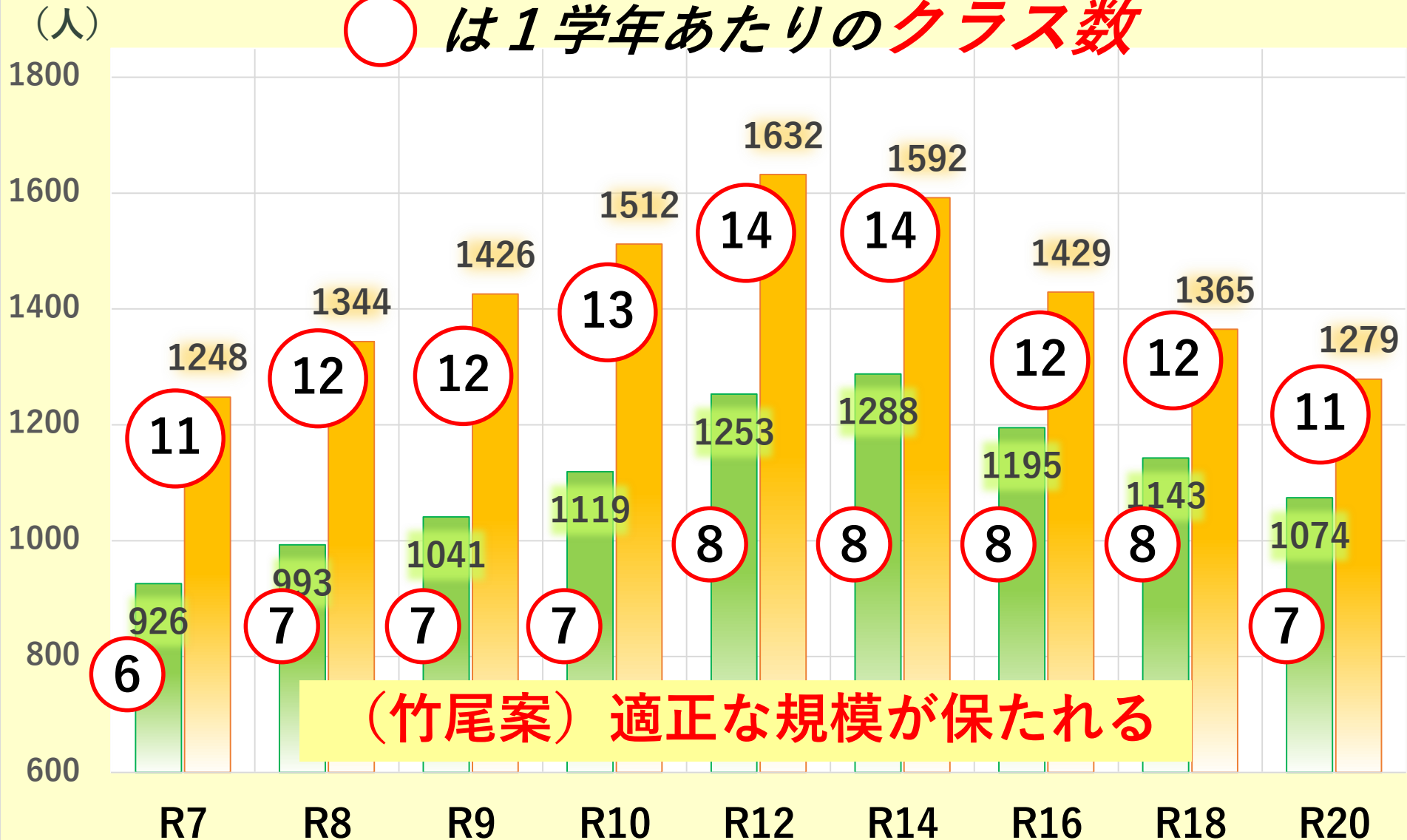


福間中学校(小中一貫教育施設)の児童生徒数の推移

■ 竹尾小中一貫教育施設案

■ 手光小学校案

○ は1学年あたりのクラス数



竹尾緑地に小中一貫教育施設の建設 (R7)

○ 効果 ● 課題

校区再編なし

- 環境教育を核として、地域（郷づくり）とのつながりを強めた小中9年間を連続させる教育実践の試み
- 福間小、福間南小の緩和、中学校の過大規模化の解消
- 多機能型施設（防災拠点《避難所》、生涯学習機能等）
- 小中一貫教育施設における教育課程、指導体制づくりと教職員、家庭・地域の理解
- 安全性、希少生物の保全への不安に対する丁寧な説明

竹尾緑地の安全性について

- 地震（活断層）
- 地盤と地下水
- ため池



想定される学校配置

竹尾池

国道3号

希少生物の保全

カスミサンショウウオ
ニホンアカガエル など

校舎①案

運動場

校舎②案

イオンモール福津

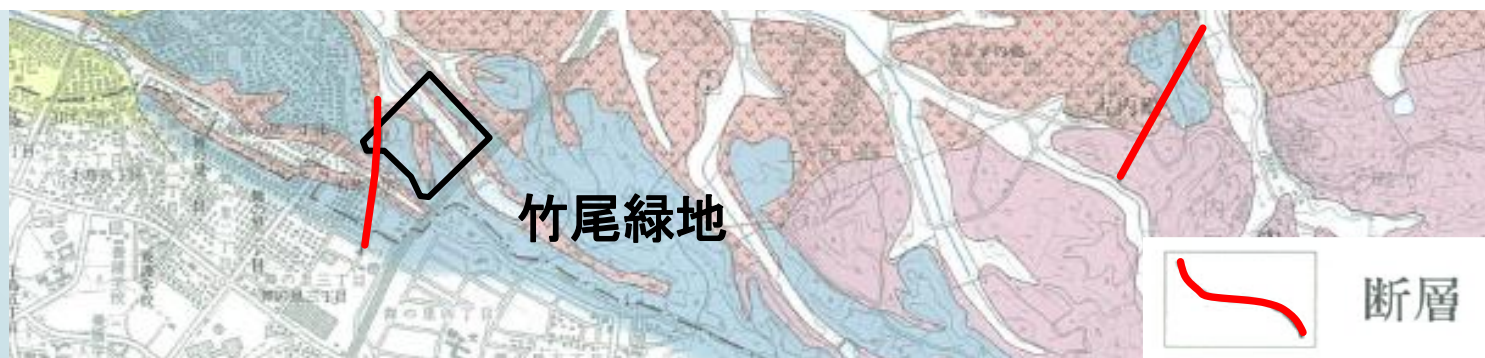
地震（活断層）

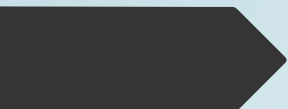
竹尾緑地の活断層は、およそ60万年前に形成された非常に古い断層で、**今後活動する可能性は極めて低い**と思われます。

（町史の執筆者の先生に確認）

（町史では、図書館の下にも活断層の記載があります）

※ 国土地理院の活断層図には記載されていません





地震（活断層）

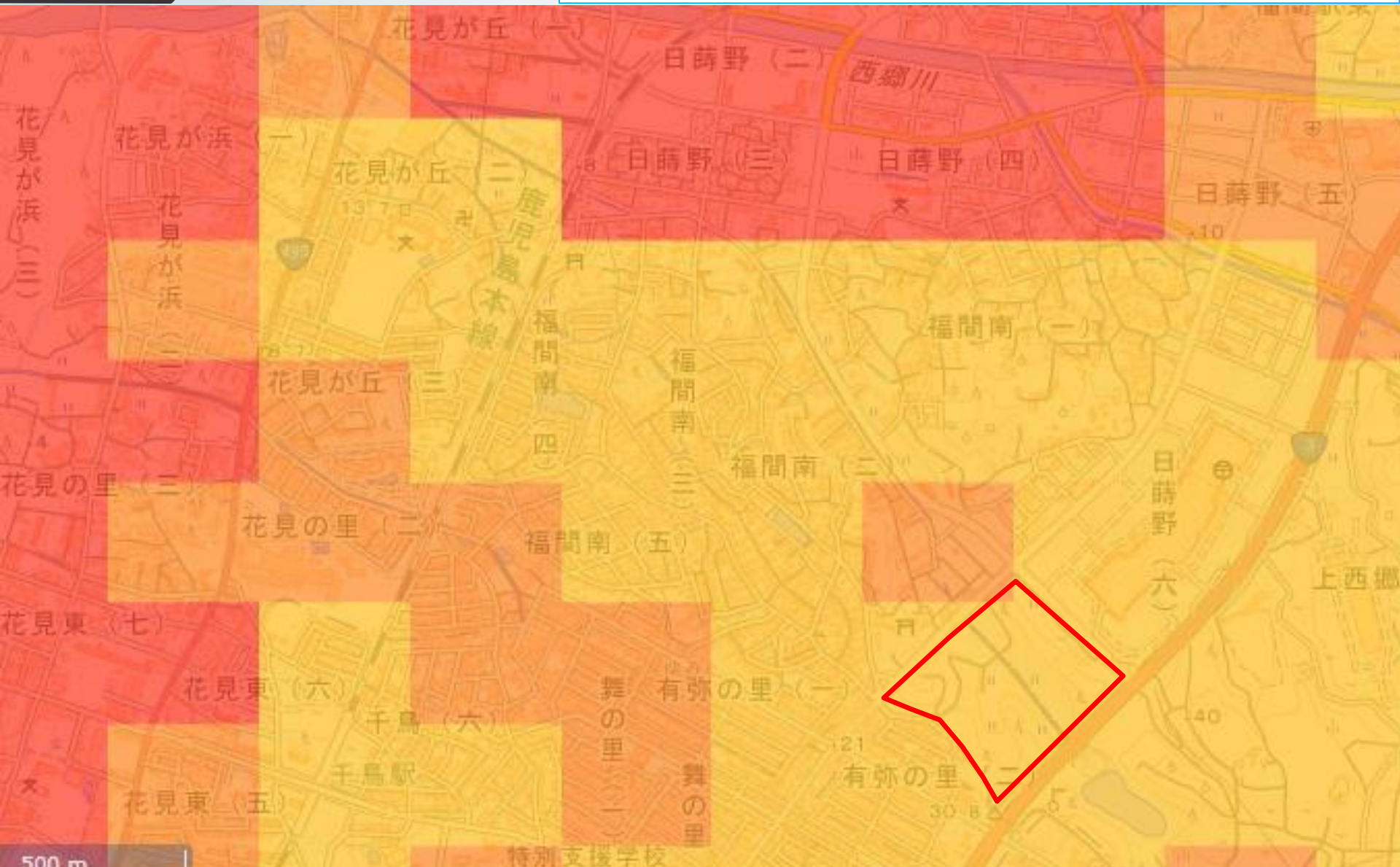
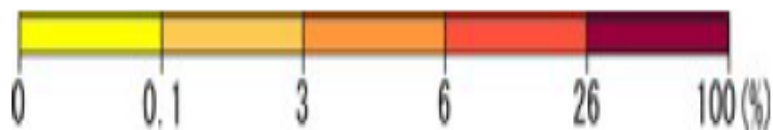
「全国地震動予測地図」は、全ての地震の規模確率を想定し、**地震調査研究推進本部** その分布を想定し示したものの。

国立研究開発法人防災科学技術研究所では「地震動予測地図」の公開システムを開発。

「**地震ハザードステーション J-SHIS**」として、2005年5月より運用を開始し、インターネットで確認できます。

地震（活断層）

確率0(%)のメッシュは無色です。



地震（活断層）

文部科学省が定めた学校施設の耐震性

- (1) 児童生徒等の安全確保及び教育活動等の早期再開
- (2) 非常災害発生時の地域住民の応急的な避難場所
- (3) 学校施設としてふさわしい耐震性能目標の設定

建築基準法令では、学校施設は**大規模地震時（震度6強以上）**で倒壊などの大きな損傷を防ぎ、**人命が失われないような耐震性能**を有した設計施工を行うことが定められています。



地盤

昭和36年頃

福間中学校



JR鹿児島本線



現在の竹尾緑地の
場所



昭和36年頃



昭和54年頃

JR鹿児島本線

福間南小学校

現在の竹尾緑地
の場所

国道3号線



令和2年

JR鹿児島本線

イオンモール

現在の竹尾緑地
の場所

国道3号線



地盤

軟弱地盤とは

軟弱地盤とは、ボーリング調査時に得られる数値（N値）によって判断されます。N値とは0～50で示され、値が大きいほど地層が固いことを意味します。一般的にN値5以下の場合を軟弱地盤と言います。

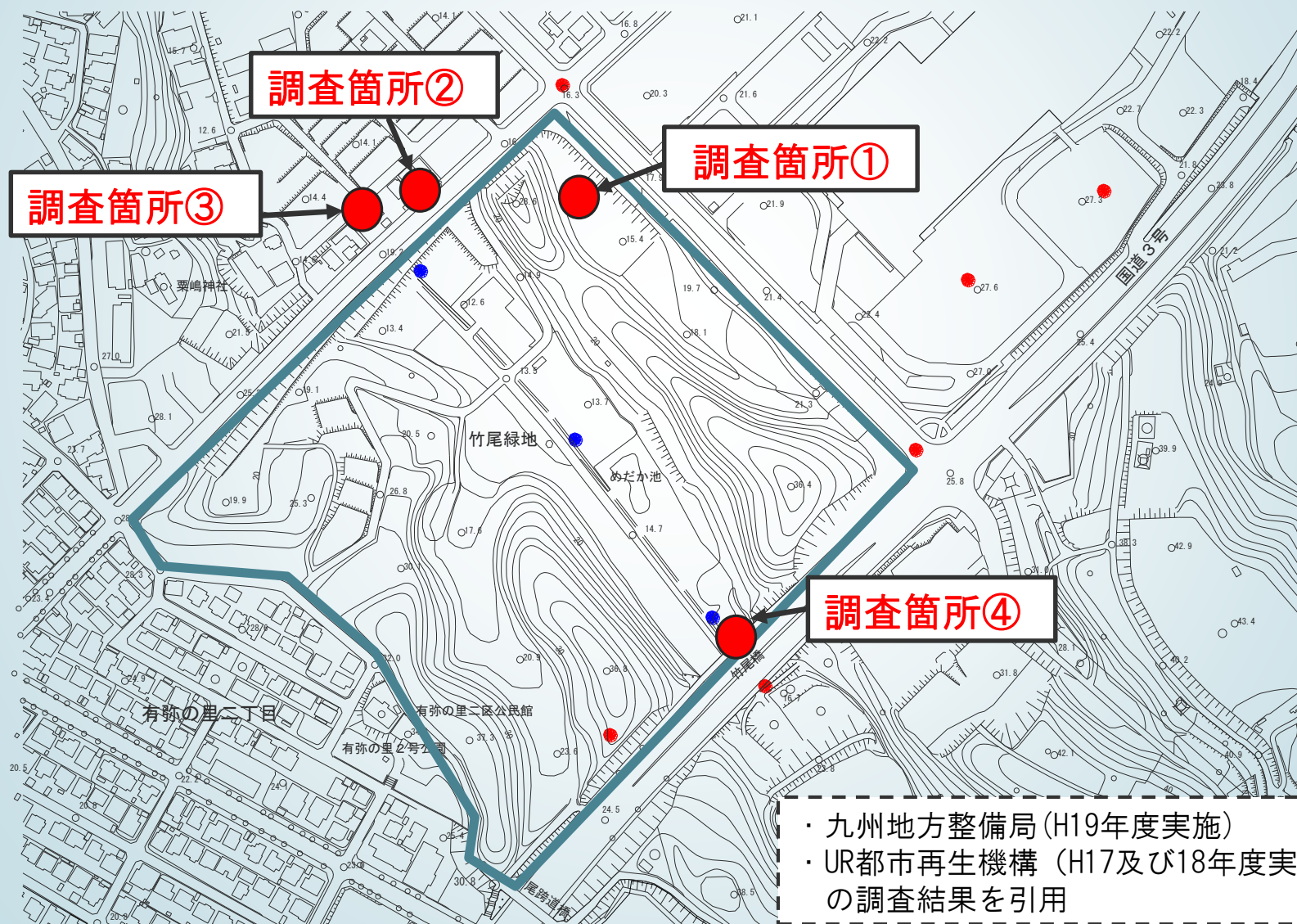
軟弱な地盤への対策

建築物は支持杭を岩盤層に到達させることで、安全性は確保されます。地下水位の影響を受けることはありません。

土を盛って、その重みで安定した地盤になります。福間駅東地区土地区画整理事業では、広い範囲でこのような工法が採用されています。

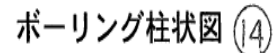
地盤

ボーリングデータ箇所図



- ・九州地方整備局 (H19年度実施)
- ・UR都市再生機構 (H17及び18年度実施)
- の調査結果を引用

●土質区分



調 査 名 福岡駅東地区1工区外地盤調査・解析業務

ボーリングダNa

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H17B-3		調査位置		福岡県東土地区画整理事業地区内外				北 緯												
発注機関	独立行政法人都市再生機構九州支社福岡東部開発事務所				調査期間		平成 18 年 2 月 10 日 ~ 18 年 2 月 11 日		東 経												
調査業者名	株式会社ダイヤコンサルタント九州支社 電話 (092-473-7090)		主任技師		石賀弘祐		現代代理人		嵯原誠司 コア鑑定者		ボーリング責任者	今村今朝光									
孔口標高	H=13.32m		角		100° 上 90°		方		北 270° 東 180° 西		地盤勾配 鉛直 0° 水平 0°		使用機種	試験機		YBM-05		ハンマー 落下用具		コーンブリー	
総掘進長	8.00m		度		下 0° 0°		向						エンジン	NS75		ポンプ		BG-3			

標高	層厚	深度	柱状	土質	相対密度	相対稠密	記	標準貫入試験	原位置試験	試験結果	試料採取	採取方法	室内試験
尺	高	厚	度	状	区	密	調度	深 度 (m)	深 度 (m)	名 お	深 度 (m)	深 度 (m)	深 度 (m)
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	度	度	度	度	度
12.78	0.60	0.60		砂質シルト			黄灰	0.15mは耕作土。以下は凝固粘土状。	0	50			
1				砂質シルト			暗青灰	中位より軟らかい。全体に凝固が速む。腐植砂を不均一に混入。腐植物混入。0.0~2.5m, 3.0~3.5m間は砂分混入が少ない。	2/11	地下水位			
2				砂質シルト			暗青灰						
3				砂質シルト			暗青灰						
9.80	2.90	3.50		粘土			暗青灰						
4				粘土			暗青灰						
7.60	2.00	5.00		粘土			暗青灰						
5				粘土			暗青灰						
6.70	1.10	0.60		シルト質粘土			暗青灰						
6				シルト質粘土			暗青灰						
5.30	1.40	0.60		シルト質粘土			暗青灰						
7				シルト質粘土			暗青灰						
8				シルト質粘土			暗青灰						
9				シルト質粘土			暗青灰						

地盤

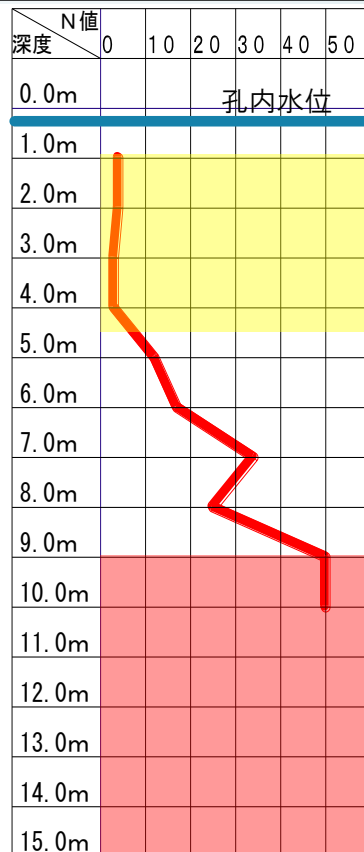
調査箇所①



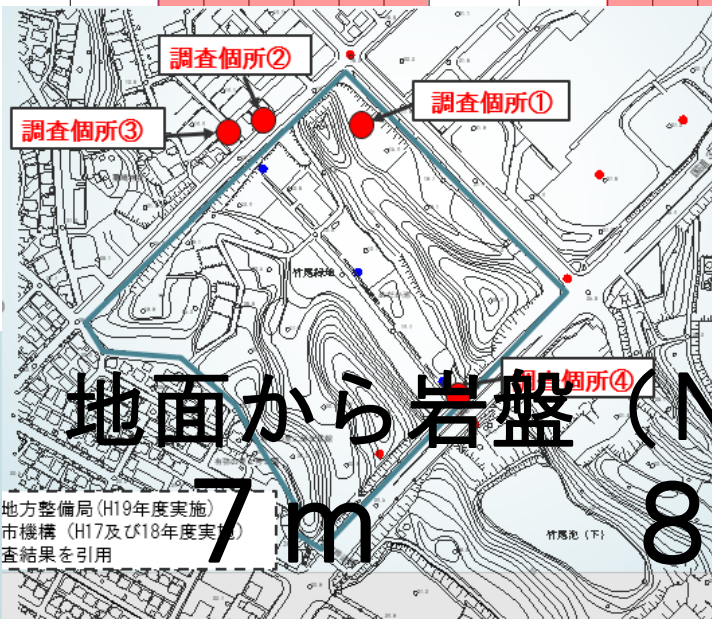
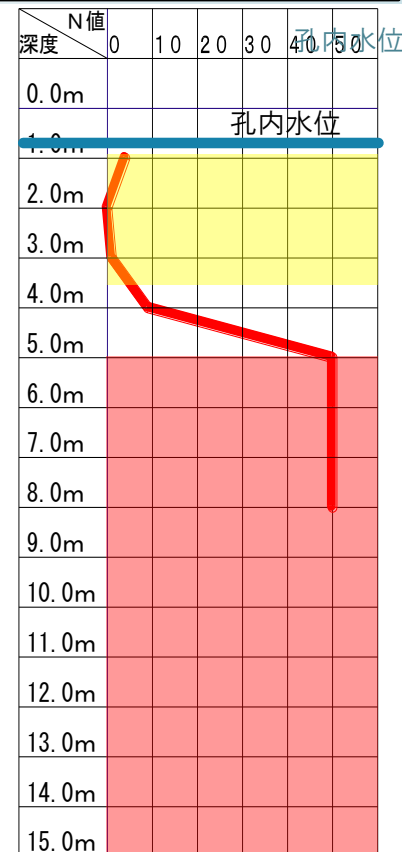
調査箇所②



調査箇所③



調査箇所④



地面から岩盤（N値50）までの深さ

7 m

8 m

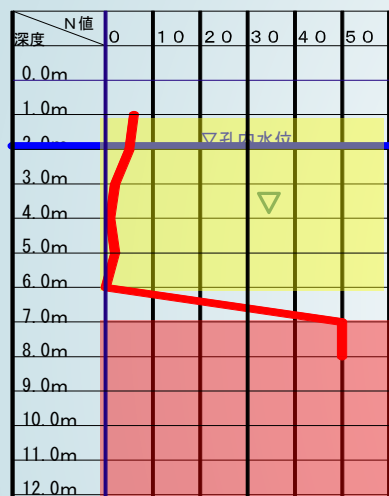
9 m

5 m

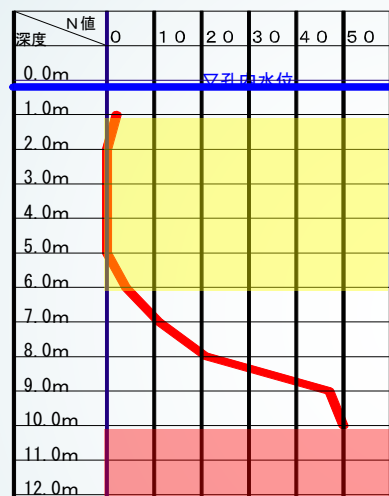
地盤

周辺道路とのボーリング調査結果の比較

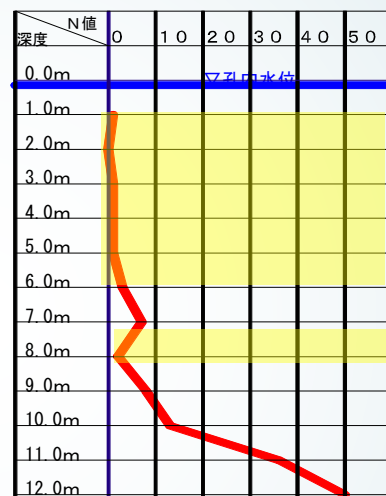
竹尾緑地



四角両谷線①



四角両谷線②



福間駅周辺



ボーリング柱状図位置図

- 福間駅周辺
- 四角両谷線②
- 四角両谷線①
- 竹尾緑地

0 100 200 300 400 500m

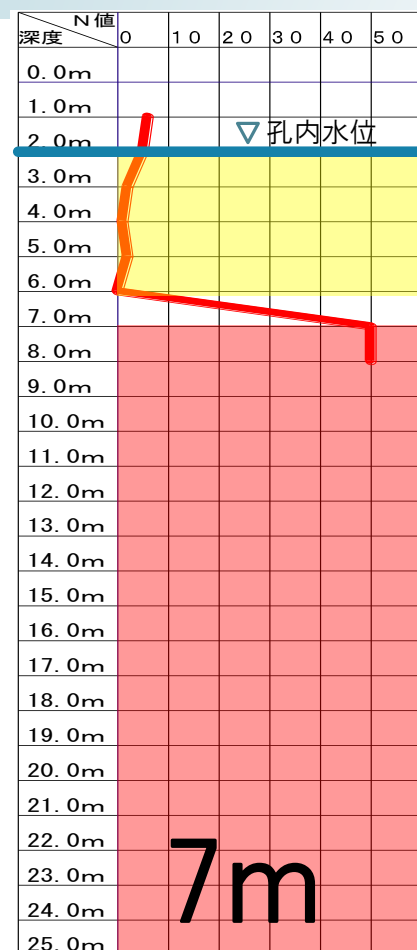
10m

12m

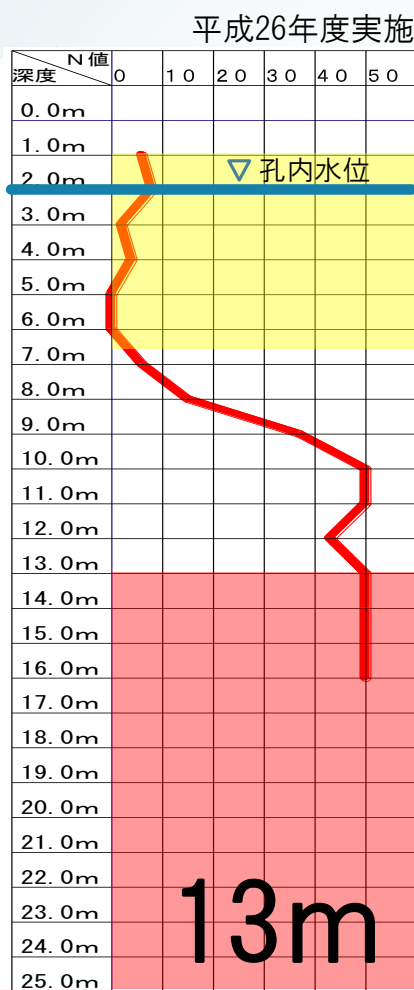
14m

地盤

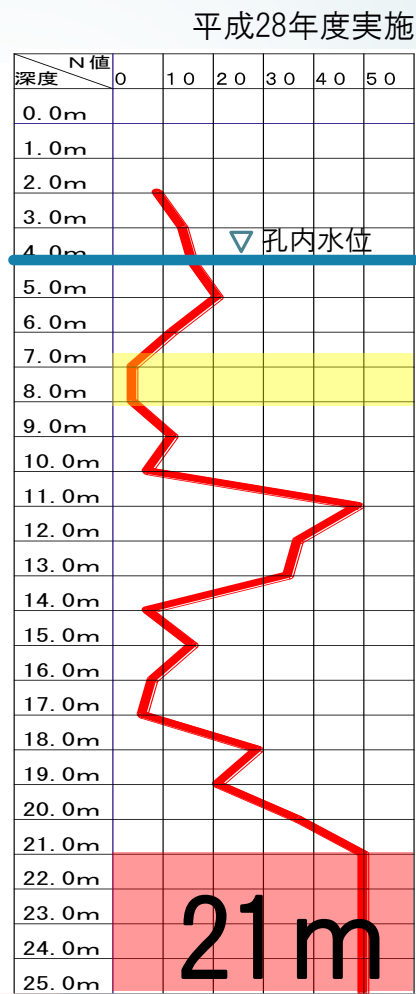
竹尾緑地



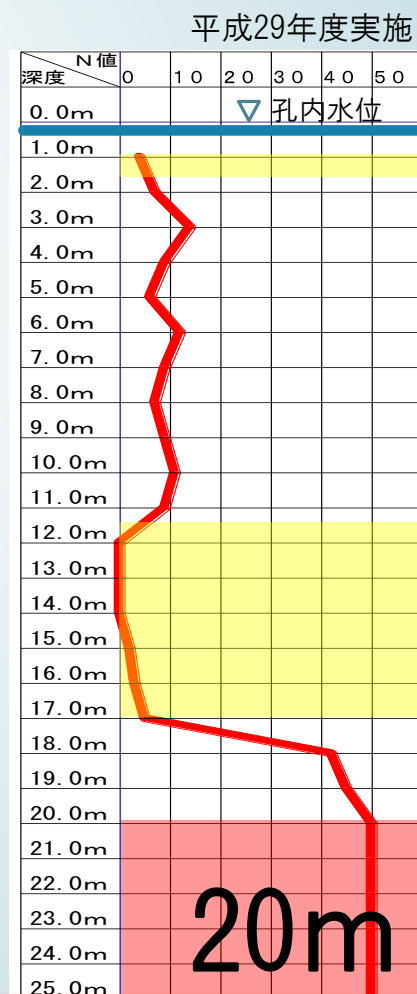
福間南小学校



福間小学校

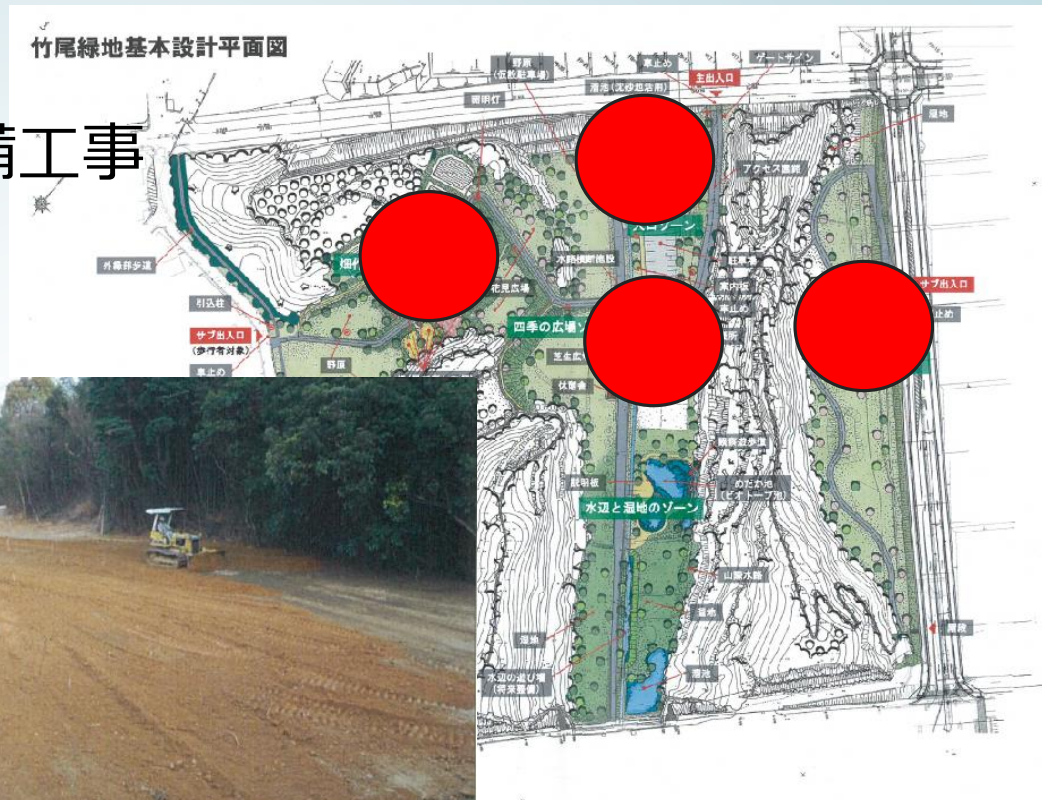


津屋崎小学校



地盤

竹尾緑地の公園整備工事



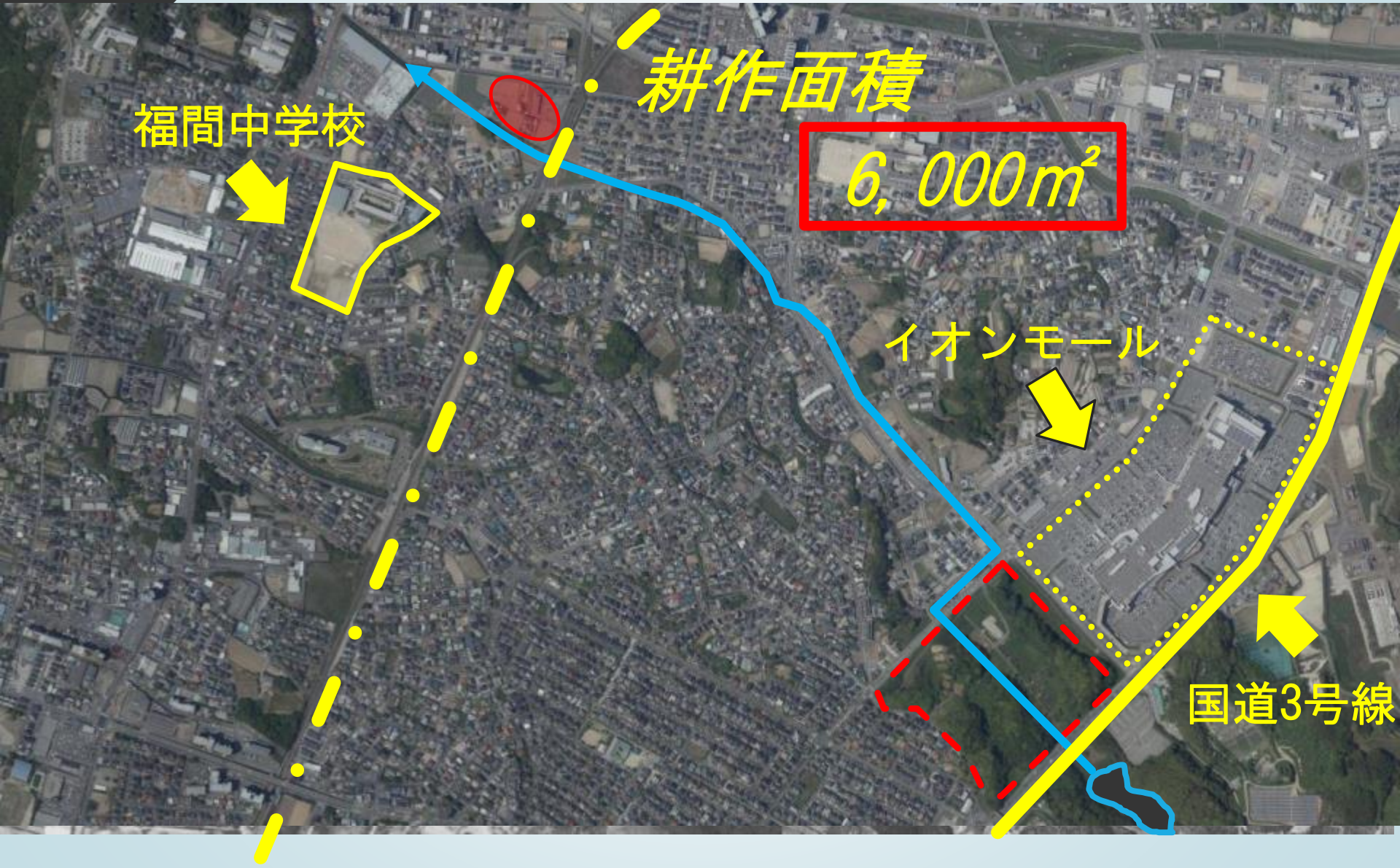
ため池

平成10年頃



ため池

平成29年頃



耕作面積

6,000m²

福間中学校

イオンモール

国道3号線

ため池

現在までに堤体部の決壊などの記録はなく、ため池の
所管課、公園管理者である市として、現時点における
危険性は認識していない。

下流の農地が減少していることから、水利組合に協力
をお願いし、低水位での管理が可能であれば、安全性
をより高めることとなる。

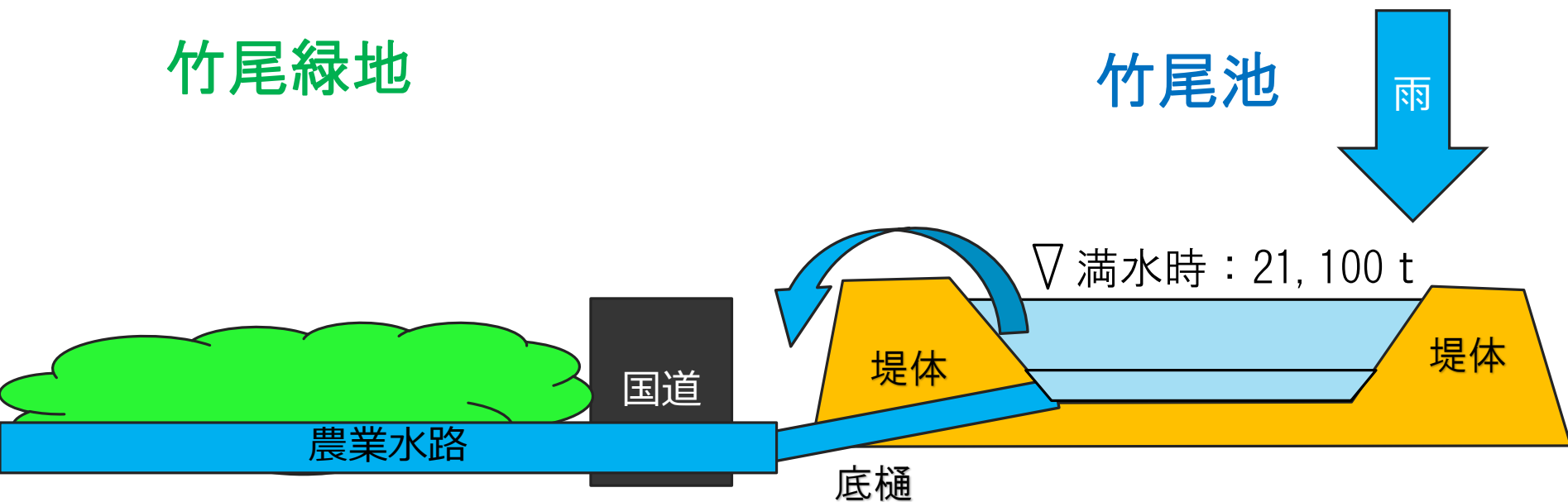
平成10年の耕作面積	約70,000m ²
→ 現在の耕作面積	約 6,000m ²

ため池

竹尾緑地

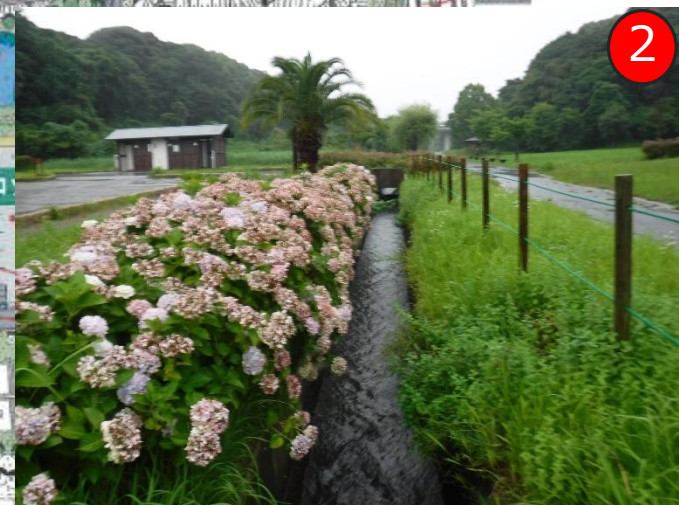
竹尾池

雨



農地面積が $70,000\text{m}^2 \rightarrow 6,000\text{m}^2$
低水位での管理による安全確保

竹尾緑地基本設計平面図



竹尾池：調整池として機能！
低水位管理を行えば、より安全になります。

令和2年7月7日
大雨警報、警戒レベル3発令中
午前9時撮影



福間南小校区に新たな防災拠点

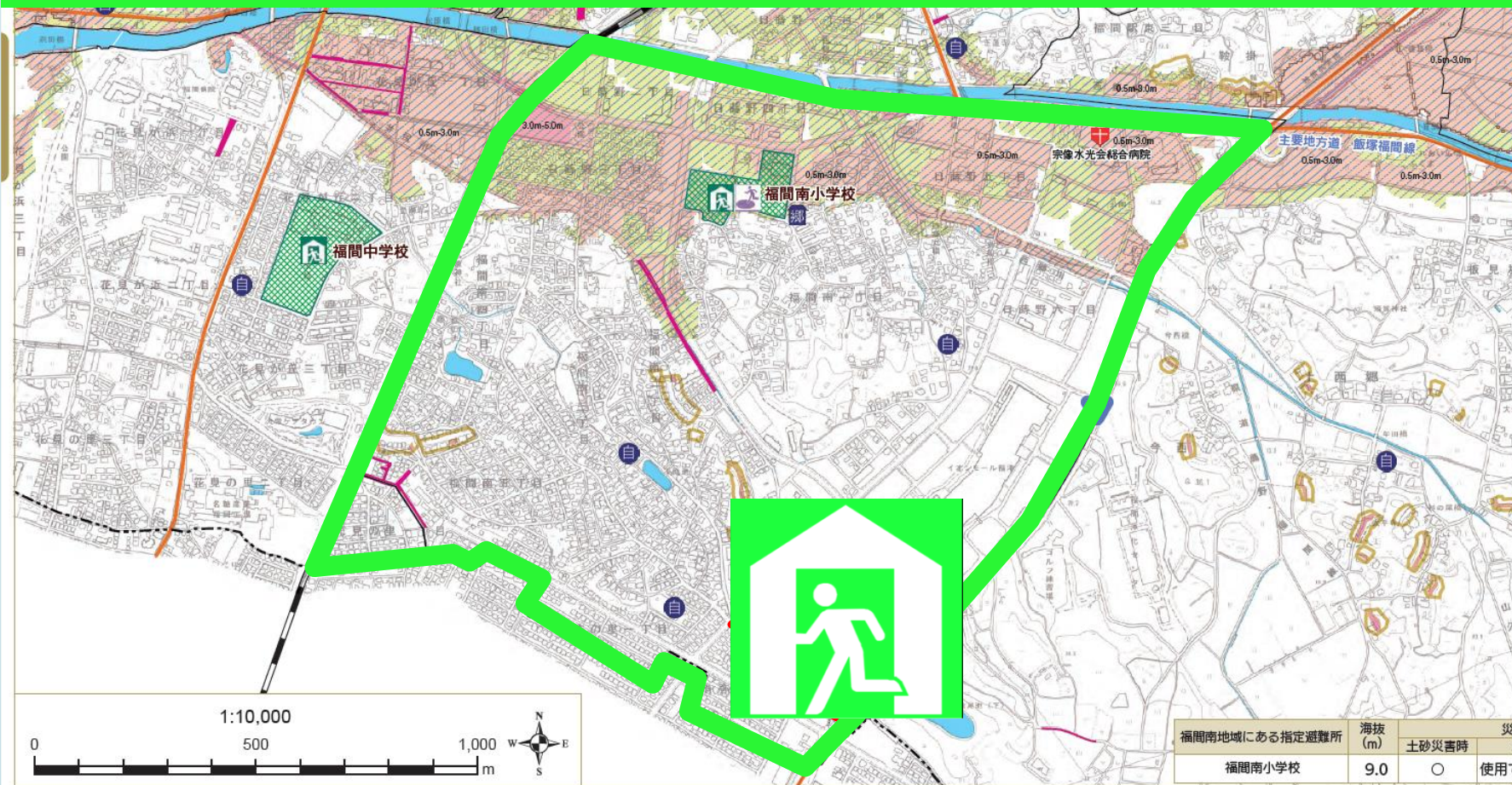
○高台に立地（標高15.0m程度）

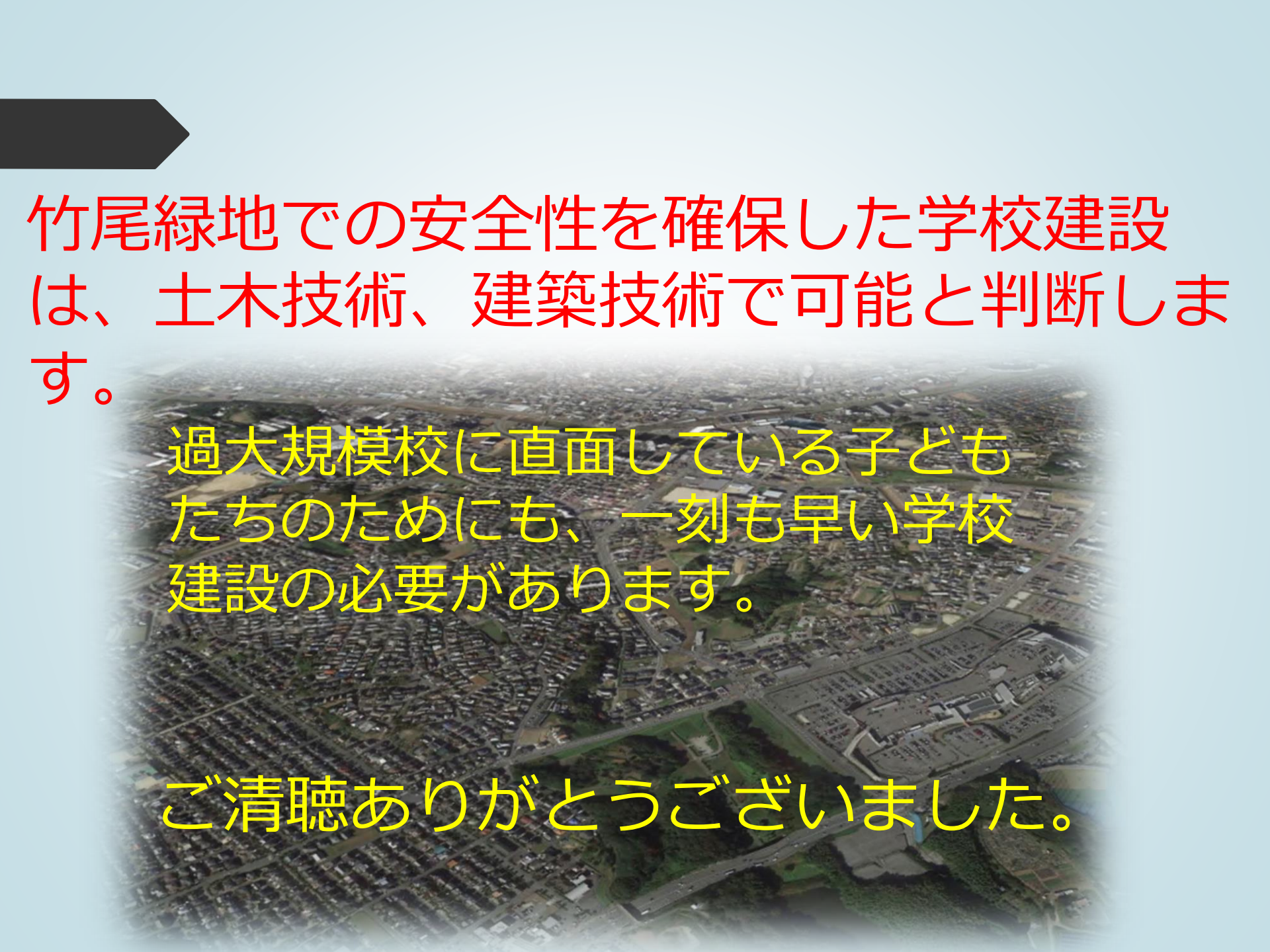
○防災機能を有した学校施設

耐震性、耐火性、バリアフリー、ライフラインの確保

○隣接するイオンモール福津との連携

○国道3号の緊急輸送路に直結



An aerial photograph of a city, likely Tokyo, showing a dense urban area with a large school complex highlighted in the foreground. The school complex is a large, rectangular area with multiple buildings and a parking lot. The surrounding area is filled with residential and commercial buildings. The text is overlaid on the image in a large, bold font.

竹尾緑地での安全性を確保した学校建設
は、土木技術、建築技術で可能と判断しま
す。

過大規模校に直面している子ども
たちのためにも、一刻も早い学校
建設の必要があります。

ご清聴ありがとうございました。

これからの福津の学校教育は

令和元年8月26日（月）

＜福津市学校教育の現状＞

- 1 「横の広がり」をめざす教育・・・地域と共働する教育
平成19年度神興東小よりCS（コミュニティスクール）を導入
平成23年度より市内全小中学校でCS（コミュニティスクール）を実践
現在（令和元年度）は、発展期と位置付けて新たにさらなる進化をめざす。
- 2 児童生徒数増に伴う過大規模校・大規模校
福間小、福間南小、福間中の過大規模校化、津屋崎小の大規模校化
特別支援学級の増加

＜地域の特性を生かした福津市立小中学校教育の新たな試み＞

- 3 「横の広がり」に「縦のつながり」も大切にする教育・・・連携・共働・接続・一貫をめざす教育
・子どもの将来を見据え、**CSの推進**と共に、**9年間の連続した学び**で「めざす児童・生徒像」「つきたい力」を小中で共有
・小学校の校区を継続しながら小中一貫の教育形態を導入するなどの特色化
「行きたい学校」「帰りたい家庭」「住みたい地域」
「夢を見られる学校」「夢を語れる家庭」「夢を広げてくれる地域」
- 4 各中学校区の小中が接続・連携した**特色ある教育活動**をめざす

（1） 福間中学校校区

- ①地域の大人を巻き込んだ「社会力」育成教育学校
ア 未来会議、回し読み新聞、トークフォークダンス、ワールドカフェ等の地域の大人を巻き込んだ特色ある教育実践
イ 海岸清掃、松林清掃・保全等のボランティア活動の推進
ウ 福間小との5・4制の小中一貫教育学校

（2） 福間東中学校校区

- ①人権感覚の育成と先駆的 ICT グローバル教育学校
ア 「誰一人取り残さない」神興教育の実践モデル
イ 21世紀型（発展型）学力の育成
ウ 道徳、英語力の育成
エ 光陵高校との連携共働の教育実践

（3） 津屋崎中学校校区

- ①地域の歴史に学び、文化伝統を受け継ぐ情操教育実践学校
ア 地域学校協働活動のモデル的实践
イ 世界遺産と地域の伝統文化（津屋崎山笠・宮地嶽神社・獅子楽等）に学ぶ教育実践
ウ 防災意識を醸成する教育実践・防災教育先進校
エ 水産高校との連携共働の教育実践

（4） 新設中学校（仮称：福間南中学校）校区

- ①SDGsの理念を核とした多機能型学校（「エコロジースクール」）
ア 竹尾緑地の自然に配慮する（知る）
竹尾緑地の自然に学ぶ（かかわる）
竹尾緑地の自然を守る（生かす）
竹尾緑地の自然に溶け込む学校（共に生きる）
イ 福間南小との5・4制の小中一貫教育学校
ウ 市民開放型学校（生涯学習機能）
・体育館、図書館、メディアセンター、食堂、特別教室等を開放
エ 防災機能（避難所）を有する学校（将来的に宿泊施設、炊飯場、井戸等を増設）